

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	学校教育課	内線等	66 - 1154
----	-------	-------	-----	-----------

事業コード		事務事業名	教材製作・管理事業（視聴覚ライブラリー）		
根拠法令等	蒲都市視聴覚ライブラリー規則他	A 法令	B 条例	<u>C 規則</u>	D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	市内小中学校に対して
手段	自主教材製作、視聴覚教材・機材の貸し出し、講習会実施により
想定する成果	身近な教材の提供、授業支援、機器利用の多様化を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
貸出件数	466件	512件	520件
養成講習	19名	12名	20名
自作教材	2 テーマ	2 テーマ	3 テーマ

成果指標

成果指標名	教材、教具貸出件数	講習会参加率
成果指標の説明	教材、教具貸出件数	講習会参加者 / 希望者数 × 100

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	520件
	実績	466件	512件	-
成果指標	計画	100%	100%	100%
	実績	100%	100%	-
事業費	事業費	13,922	13,981	13,746
	人件費	5,015	4,958	5,053
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	18,937	18,939	18,799
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	18,937	18,939	18,799

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	変革途中なので雑業務が多く、十分に手がかけられない。
経済効率性	3	3	低コストメディアへの移行。現場で機器の整備が遅れている。
事務効率性	2	2	メディアの移行に人手、手数がかかる。
必要性	3	3	教育の中での視聴覚教育、情報教育は重要。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	生涯学習への取組が、人手の問題で十分できない。
------	---	---	-------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

受付業務の簡素化、インターネット等利用による情報伝達の効率化を図った。

今後改善すべき点

教材、教具の運搬及びメディアの小型化の検討。特にデジタル化による教材運搬、配信システムの検討。

平成16年度予算に反映する項目

教具の老朽化による効率低下を防ぐため、必要な教具の更新教材のデジタル化を進める予算要求をしたい。

組織、人員に関する提言

最少人数での運用なので限界がある。せめて常勤1名増により、市民へのアプローチがより密にできる。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	学校教育課	内線等	1611
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	浦添市少年の船交流交歓事業		
根拠法令等	「浦添市少年の船」実施要項他	A 法令	B 条例	C 規則	D その他

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	蒲郡市の小学生・関係者に対して
手段	「浦添市少年の船」参加団員と本市小中学生との交流交歓会等を開催することにより
想定する成果	両市の交流の発展と児童生徒の健全育成を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
交流交歓会	-	1	-
蒲郡市参加者	-	205人	-
浦添市参加者	-	149人	-

成果指標

成果指標名	交流交歓会参加者数（蒲郡市）	交流交歓会参加者数（浦添市）
成果指標の説明	交歓会への児童・関係者の参加者	交歓会への少年の船団員の参加者

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	196人	-
	実績	-	205人	-
成果指標	計画	-	149人	-
	実績	-	149人	-
事業費	事業費	-	192	-
	人件費	-	826	-
	(人数)	-	0.1	-
	合計	-	1,018	-
財源内訳	国	-		-
	県	-		-
	市債	-		-
	その他	-		-
	一般財源	-	1,018	-

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	両市の参加者とも満足した交歓会ができた。
経済効率性	3	3	交歓会への両市の参加者の昼食代はすべて浦添市で出していただいた。
事務効率性	3	3	特に問題はない。
必要性	3	3	両市の友好のために今後とも継続していく必要がある。
小計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	交歓会実施校（塩津小）の児童を参加対象としたため、一般市民の参加はえられない。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	本市と浦添市との友好、少年の船参加団員や本市児童との交流ができよい。
------	---	---	------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

4年に1度実施している。

今後改善すべき点

交歓会実施校のPTA，地元関係者にも参加を広く求めていきたい。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	学校教育課	内線等	1602
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	生徒指導対策事業		
根拠法令等	生徒指導研究推進委員会要項	A 法令	B 条例	C 規則	D その他

総合計画での位置付け
基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	市立小中学校児童生徒に対して
手段	児童生徒の健全育成や魅力ある学校づくりを行うことにより
想定する成果	一人一人の児童生徒が楽しく安心して学校生活を送ることができる。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
いじめの発生件数	小14件、中0件	小11件、中11件	小5件、中5件
不登校の発生件数	小9件、中89件	小12件、中71件	小6件、中50件
暴力行為の発生件数	小0件、中0件	小0件、中2件	小0件、中0件

成果指標

成果指標名	いじめ発生件数	不登校の発生件数	暴力行為の発生件数
成果指標の説明	小、発生件数 ÷ 児童数 中、発生件数 ÷ 児童数	小、発生件数 ÷ 児童数 中、発生件数 ÷ 児童数	小、発生件数 ÷ 児童数 中、発生件数 ÷ 児童数

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	小0.1%、中0.2%
	実績	小0.3%、中0%	小0.2%、中0.4%	-
成果指標	計画	-	-	小0.1%、中1.9%
	実績	小1.8%、中3.2%	小0.2%、中2.6%	-
成果指標	計画	-	-	小0%、中0%
	実績	小0%、中0.1%	小0%、中0.1%	-
事業費	事業費	169	149	120
	人件費	1,671	1,652	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,840	1,801	1,804
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,840	1,801	1,804

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	不登校児童生徒数及び暴力行為の発生件数が減少してきている。
経済効率性	2	2	問題行動に対応するための教師の力量を高める研修会等の充実を図るため、各校への予算を増額したい。
事務効率性	3	3	
必要性	3	3	
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度			
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	一人一人の児童生徒の健全育成を図るためには、欠くことのできない事業である。
------	---	---	---------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

不登校相談室「麦」の開設（週2日、午後、生きがいセンターに開設）

今後改善すべき点

地域・関係機関との情報交換や連携をさらに深める。

平成16年度予算に反映する項目

教師の力量向上のための研修会を開催するための予算を増額要求する予定である。

組織、人員に関する提言

適応指導教室「あすなろ教室」の指導補助員の常勤。
本年度は緊急雇用制度を利用し、補助員1名を確保できているが、この制度が無くなった後は市の予算で任用していただきたい。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	学校教育課	内線等	1611
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	アシスタントティーチャー活用事業		
根拠法令等	緊急地域雇用創出特別基金事業制度	A 法令	B 条例	C 規則	D その他

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	蒲郡市の小学校13校に対して
手段	緊急雇用制度を活用して、各学校の希望により指導補助員（アシスタントティーチャー）を1名配置することにより
想定する成果	適性学級や少人数指導で児童の実態に応じたよりきめの細かい指導ができる。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
配置校	-	9校	13校
配置人員	-	延べ11名	延べ14名

成果指標

成果指標名	学校への配置率	アシスタントティーチャー活用総時間数
成果指標の説明	配置人数 / 市全小学校数（13）	アシスタントティーチャーを活用した指導の総時間数

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	-	84.6%	-
成果指標	計画	-	-	3,120時間
	実績	-	2,640時間	-
事業費	事業費	-	6,955	11,128
	人件費	-	3,305	3,369
	(人数)	-	0.4	0.4
	合計	-	10,260	14,497
財源内訳	国	-	6,955	11,128
	県	-		
	市債	-		
	その他	-		
	一般財源	-	3,305	3,369

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	アシスタントティーチャーを配置した学校では、児童の指導で非常に役立ったと報告されている。
経済効率性	2	2	時間給は2,500円であるが、他の職種と比べてやや高いとも思う。
事務効率性	2	2	時間給を少し低くおさえて、任用時間・期間を増やすことも必要。
必要性	3	3	15年度は全小学校から配置希望があり、13校14名を配置している。きめ細かい指導のためには必要。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	児童の実態、保護者や学校からの要望を重視して実施したが、まだまだ不十分である。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	一人一人の児童・生徒に対応するため、指導の工夫・改善を不断に行っていく必要がある。そのための一つの方法としてアシスタントティーチャーは価値がある。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

平成14年度から平成16年度までの3年度事業として予定しているアシスタントティーチャーの任用については、各学校の実態に応じて柔軟に対応を行った。

今後改善すべき点

時間給を下げると同時に任用（雇用）時間数を増やしたい。
小学校だけでなく中学校にも配置する。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	学校教育課	内線等	1603
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	特殊教育推進事業				
根拠法令等	蒲郡市特殊教育推進会則		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	蒲郡市立小中学校児童生徒に対して
手段	特殊教育を推進することによって
想定する成果	障害児者と健常児者がお互いを理解することができる。そして、障害のある児童生徒への適正な就学・教育が実現し、社会参加への基礎を身につけることができる。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
児童生徒総数	7,769人	7,626人	7,428人
適性学級在籍児者数	69人	68人	69人
校外学習実施経費	480,000円	450,000円	380,000円
作品展開催経費	150,000円	150,000円	130,000円

成果指標

成果指標名	適性学級合同校外学習参加者数	適性学級合同作品展参観者数
成果指標の説明	適性学級児童生徒 + 引率者	期間内参観された延べ人数

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	105人
	実績	107人	104人	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	483人	570人	-
事業費	事業費	1,586	1,498	1,333
	人件費	5,851	5,784	5,895
	(人数)	0.7	0.7	0.7
	合計	7,437	7,282	7,228
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,437	7,282	7,228

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	
経済効率性	3	3	
事務効率性	3	3	
必要性	3	3	
小計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	
合計	15 / 15 満点中	15 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

適性学級合同作品展については、障害児者への理解をすすめていく上で、とてもよい機会である。市内の適性学級だけではなく、近隣の養護学校などにも出品を依頼し、さらに多くの参観者に来ていただけるようにした。

今後改善すべき点

障害児者への理解を今まで以上にすすめていくことが重要である。そのために、これまでの活動を展開しさらに多くの健常な児童生徒、またその保護者への働きかけを強化していく必要がある。

平成16年度予算に反映する項目

平成15年度、大幅に予算が削減されたために、予算内で可能な活動に縮小せざるを得なかった。特に機関紙「うなばら」は多くの人に障害児者について理解してもらうために重要な役割を負っている。是非14年度なみの予算を、16年度に要求したい。

組織、人員に関する提言

今後、障害のある子どもの教育を推進していくうえで、ノーマライゼーションの考え方がすすみ、教育に対するニーズもさらに多様化してくると思われる。それに対応するためには、市の予算でアシスタント的な人員を確保していただくことが不可欠である。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	学校教育課	内線等	1604
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	私学振興事業				
根拠法令等	蒲都市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱他		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	学校法人及び私立学校就学者の保護者に対して
手段	私立学校の運営費、入園料及び授業料の一部を補助することによって
想定する成果	保護者の経済的負担の軽減等を図り、私立学校の振興に資する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
私立幼稚園等運営費補助	4園、2,496,300円	4園、2,663,400円	4園、2,793,000円
私立幼稚園就園奨励費補助	410名、26,975,400円	527名、36,104,900円	556名、40,128,500円
私立高等学校等授業料補助	294名、4,820,400円	294名、4,820,400円	294名、4,820,400円

成果指標

成果指標名	対象者率
成果指標の説明	対象者数/在籍者数 × 100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	67.5%
	実績	63.1%	65.6%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	34,292	43,470	48,729
	人件費	3,343	3,305	3,369
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	37,635	46,775	52,098
財源内訳	国	7,921	10,225	11,105
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	29,714	36,550	40,993

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	住民のニーズに十分こたえきれていない（限度額があり）
経済効率性	3	3	
事務効率性	2	2	申請事務の簡素化を図るべきである。
必要性	3	3	
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

広報等を活用し、啓発に努めた。各種申請書類の見直しをした。支払い時期の見直しをした。

今後改善すべき点

補助対象区分、補助金額の見直し。補助申請書類等の見直し。

平成16年度予算に反映する項目

保護者の市民税限度額の条件の緩和を検討したい。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	学校教育課	内線等	1604
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	通学区域審議会開催事業				
根拠法令等	地方自治法第138条の40他		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	蒲郡市公立学校設置条例に定める小学校および中学校の通学区域について
手段	蒲郡市公立学校通学区域審議会による調査、審議を行うことにより
想定する成果	蒲郡市公立学校設置条例に定める小学校および中学校の通学区域の設定および変更（見直し）を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
会議名	蒲郡市義務教育問題研究会 (第3回)	蒲郡市公立学校通学区域審議会 (第1回～第3回)	-

成果指標

成果指標名	通学区域の設定および変更（見直し）地区件数	延会議出席者数
成果指標の説明	通学区域の設定および変更（見直し）地区件数	蒲郡市公立学校通学区域審議会（第1回～第3回）の延出席者数

事業の進捗状況（一般会計）

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	4件	-
	実績	-	4件	-
成果指標	計画	12人	56人	-
	実績	12人	51人	-
事業費	事業費	41	179	-
	人件費	2,507	2,479	-
	(人数)	0.3	0.3	-
	合計	2,548	2,658	-
財源内訳	国			-
	県			-
	市債			-
	その他			-
	一般財源	2,548	2,658	-

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	要望のあった4地区の設定・変更（見直し）を平成14年度中に全て行うことができた。
経済効率性	3	3	
事務効率性	2	2	審議会のため、効率性の評価は難しい。
必要性	3	3	
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	対象となる一部の地域・住民からの要望は、強く反映している。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

通学区域と総代区の異なる地域の学区を見直した。

今後改善すべき点

学区を子ども中心に考えていく必要がある。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	学校教育課	内線等	1612
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	(財)蒲郡市教育文化振興会事業		
根拠法令等	蒲郡市中学生海外派遣事業(要項)	A法令	B条例	C規則	Dその他

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	蒲郡市内の各中学校に在籍する2年生に
手段	オーストラリア・ブラックバーン校へ派遣することによって
想定する成果	他国の中学生との交流やホームステイ等を通して、国際感覚と豊かな心を育成する。

事業の概要

(人)

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
対象人員	982	878	857
派遣人員	17(生徒14・教師3)	17(生徒14・教師3)	17(生徒14・教師3)
派遣総事業費	4,897,495円	4,887,020円	4,740,000円
内蒲郡市からの補助金	2,315,000円	1,615,000円	1,615,000円

成果指標

成果指標名	派遣生徒及び引率教師の派遣事業満足度	派遣事業参加率
成果指標の説明	派遣後のまとめとして作成する「訪問記」の事後アンケート等の結果による	参加者数/中学2年生総数 × 100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	100.0%	100.0%	100.0%
	実績	100.0%	100.0%	
成果指標	計画	1.4%	1.6%	1.6%
	実績	1.4%	1.6%	
事業費	事業費	2,315	1,615	1,615
	人件費	836	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	3,151	2,441	2,457
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,151	2,441	2,457

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	事後のアンケート結果から判断して、参加したほとんどの生徒・教師の満足度は高い。
経済効率性	2	2	蒲郡市文化振興会の財源がかなり少なくなっているため、今後は交流地の変更も含め検討したい。
事務効率性	3	3	事前及び事後の研修会も計画的に行われており、生徒の研修態度もきわめて意欲的である。
必要性	3	3	参加生徒の意欲的な取り組みもあり、帰国後の各学校での報告会が開催されている。交流地の変更も予想されるが、ぜひ継続したい。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	参加者から、事後アンケートなどで感想等を聞いている。
合計	14 / 15 満点中	14 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	時代の要請のなかで、国際交流教育は、年々その必要性を高めている。本市においても、交流地の変更は検討しつつも、今後もぜひ継続していきたい事業と考えている。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・経費の面で、より少なくするために、ブラックバーン校以外の研修場所を見直してきた。
- ・従来は、すべてホテル泊であったが、ホテル3泊、ホームステイ4泊に改めてきた。

今後改善すべき点

- ・平成15年度は、より経費を少なくするために、ホテル2泊、ホームステイ5泊を予定している。

平成16年度予算に反映する項目

- ・交流地を従来のオーストラリア、メルボルン市のブラックバーン校から、全面的に見直し、平成15年度中に、決定する予定でいる。

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載